

すべての労働者の大幅賃上げ



甘い言葉で狙われる 危険な「働き方改革」

2月3日～4日、府職労「2017国民春闘学習」と交流のついでに、府職労と交流のついでに、77名が参加しました。女性の参加は36%、40歳以下の参加は22%でした。

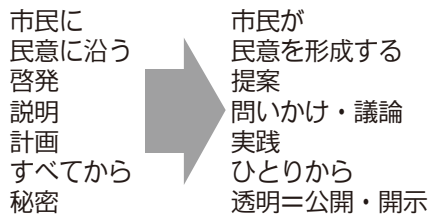
1日目は全労連の雇用・労働法制局長の伊藤圭一さんを講師に招き「安倍『働き方改革』と2017春闘情勢」をテーマにお話しいただきました。

「長時間労働の慣行を断ち切る」「非正規」という言葉をこの国からなくすなど、耳あたりの良い安倍首相の言葉ばかりがマスコミで報道されていますが、その実態は、労働基準法の労働時間という概念をなくし、どんなに働いても残業

野洲市の取り組み例

- 文化スポーツ振興事業団の解散と施設の市直営化、団体職員を市の正規職員として採用
- 市立保育園を独自制度のこども園化、保育士(教諭)の新規採用
- 市立学童保育所の倍増
- 民間病院を市民病院化
- コミュニティ・バスの直営化
- 市立図書館司書の増員
- 地域包括支援の直営
- まちづくり情報の提供と公開(透明性)
- 市民生活相談と生活困窮者自立支援
- 市債権の一元管理と生活支援
- 発達支援と特別支援教育

まちづくりのフォーラムの転換



参加者の感想

今後の自信に つながった

土建支部 北井 誠

労働組合の行事に参加するのは今回が初めてでしたが、予想していた以上に濃い内容で、たいへん満足しています。タイトルのとおり、とても良い学習・交流をさせていただけだと思っ

ています。私自身、入庁を機に公務員を取り巻く情勢を学ぶ必要性を感じていました。今回の講演と分断会は非常にためになり



考えることのできるものとなりました。講演のあとは、6つの分散会で議論し、講演の感想を出し合い、春闘の取り組み

ても否定されたりするが、参加して自分の意見が言えることが素晴らしいと実感した」との声も出されています。

自分たちに何が できるのか、 知識を得たい

総務農林支部 福田 匠

中身の濃い充実した2日間だったと感じます。全労連雇用・労働法制局長の伊藤先生からは、アベノミクス下の賃金、労働環境の情勢、安倍「働き方改革」の多様な見方について学び、

詳細まではわからないまでも、このままいくと労働法が適用されない等の危険な状況を招くかもしれないと

いう危機感を覚えました。また、滋賀県野洲市の山仲市長からは、全国でも稀である官主体のまちづくりの事例を紹介いただき、自

ら追書を受けながらも、倒幕を果たした木戸孝允と組合活動を重ねてこを会場にしたのかなあと思っていました。考えすぎでしょうか。維新後、長州藩は良くも悪くも多くの総理大臣を輩出し、今の首相も山口県の方です。時代は続いて「今」に影響を与えています。

私たちの今回の学びや活動が、将来の「今」に繋がると感じています。

仕事と家庭の両立ができる 職場をつくろう

連載 母性保護を考える ④

卵子の一生

妊娠には「適齢期」があることをご存知ですか？今回は「卵子」の話をしたいと思います。

減り続け 老化していく卵子

卵子は、お母さんのおなかの中にいるとき(胎生期)から女の赤ちゃんのおなかの卵巣にすでにできています。生まれる前には700万個の卵子があるとい

われていますが、成長するにつれて数が減っていきま

す。この世に誕生した時に

いつまでも健康で働ける職場を！ ～まずは生理休暇から～

男性の場合も同様に、加

男性にもある 妊娠適齢期

た、卵子は胎生期につくられるので、歳をとると老化していきます。この卵子の数の減少と質の低下が受精能力や受精後の発育能力(妊娠する力)に影響を与えます。20代から30代前半が妊娠しやすい時期といえます。

次回「女性ホルモンと月経」を予定しています。

(府職労女性部)

母性保護講師団)



自分たちに何が
できるのか、
知識を得たい
私は最近結婚し、賃金や労働環境について今まで以上に考えることが多くなつたように感じます。伊藤先生の言われる厳しい状況の中自分たちに何ができるのか、今回のような勉強会に参加して知識を得たいと思います。

他の人にも広く 知ってほしい

保健所支部 彼塚 陽子

普段なかなか考えたり聞いたりすることがない内容でもとも勉強になりました。毎日、目の前の仕事に追われていて、働き方や労

や公務労働のあり方についてのお話もあり、私たちの仕事は府民のために何ができるかを考える仕事であるため、公共サービス等がどのように整備されているか、どのように計画されているかを知るだけで、これから仕事をする上でとても参考になりました。

また、働き方の未来2035年の中身について初めて知り、厚生労働省が20年後の日本の労働者は正社員が消えていると言っていることにも驚きました。

今回の学習交流会に参加し、このような活動はとても大事だと思えますし、他の人にも広く知ってほしいと思えました。